

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 012	提案機関名 畜産課
要望問題名 県内の生産者が飼育する種雄豚とその系統(雌や候補豚等を含む)の肉質向上遺伝子(霜降遺伝子)の遺伝子型の調査	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 力強いかながわの畜産の実現に向け、県民に安心・安全で高品質な豚肉を、安定的に供給するため、優良種豚を数多く確保することが重要である。 県内の生産者は、各種ブランドを展開しておりそれぞれ評価を得ているが、種豚の選抜・維持については、経験則によるものが多く、ブランド力強化のためには科学的な根拠に基づいた選抜方法を取り入れる必要がある。 肉質向上遺伝子を持つ高能力な種雄豚を選抜、利用するため、県内で広く飼養されている種雄豚とその系統(D種)の肉質向上遺伝子の遺伝子型を調査する。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター畜産技術所	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 系統豚を利用した高品質豚肉生産技術の確立(平成15～27年度) 高品質豚肉生産のための要素解析と品質評価への応用(平成23～26年度)			
対応の内容 肉質関連遺伝子のうち筋肉中脂肪量に関する遺伝子領域はいくつか報告がありますが、現在、利用可能なものには、遺伝子の型と筋肉中脂肪量の関係について関与が報告されている Tubby 遺伝子があります。この Tubby 遺伝子型の検査は、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構が特許を取得しておりますので、当所での検査実施は困難です。生産者の飼育豚の検査は、関連する民間検査機関に依頼されるようお願いいたします。 当所におきましては、今後とも有用な育種改良手法の情報収集に努めるとともに、血統・遺伝と同様に重要な給与飼料から高品質な豚肉を生産できるよう「高品質豚肉生産のための要素解析と品質評価への応用」で取り組んでまいります。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考	民間検査機関:プレスクライブ・ゲノミクス社		